

# 六砂小に夢と希望、緑を植樹

東京アパッチが

バスケットボール教室  
と緑をプレゼント



▲選手とパス練習

▲かりんの苗木を植樹

有明をホームアリーナに活動するプロバスケットボールチーム「東京アパッチ」が第六砂町小学校で、5月8日バスケットボール教室と記念植樹を行いました。東京アパッチは、5月4日のファイナルで惜敗したものの、これまでの最高位となる2位で今シーズンを終えています。バスケットボール教室は、六砂小6年生を対象に東京アパッチコーチ、選手の計5人が指導。シュート、パス、ドリブル練習などを通し、選手らと触れ合いました。最後にコーチから「スポーツを楽しみ、好きになってください。そして、そのときの

友達は一生の友達になります」と言葉が贈られました。

**児童らの要望もあり「花が咲き、実もなる」かりんを植樹**

教室後には、花梨の苗木を選択し、児童らが植樹しました。緑を増やす「ハートツリー・プロジェクト」の一環で、東京アパッチの試合のチケット代に300円を上乗せし、その売上で都内の小学校に植樹していく第1弾。植樹式には、山崎区長も参加し、「緑を増やすことはとてもいいこと。地球のために一人ひとりが環境問題に取り組みましよう」と児童に呼びかけました。